

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和５年度第４回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和６年２月１６日（金曜日） １３時３０分～１５時００分
場所	南中学校 ２階翔南ルーム
出席委員	宇津木会長、内野泰委員、大塚委員、佐藤委員、佐鳥委員、鈴木委員、金泉委員、藤尾委員（代理人が出席）、小池委員、廣田委員、黒川委員、内野昌委員、高橋宏委員、山口委員、真武委員（南中校長）、小川委員（南小校長）
欠席委員	高橋淑委員、三浦委員、小田委員、細川委員、内野雅委員
事務局	南小学校 目黒教頭、小熊事務主事 南中学校 藤田教頭、長村事務主任
議題	（１）第３回学校運営協議会議事録について （２）学校評価について
配布資料	・令和５年度鶴ヶ島市立南小・中学校 第４回学校運営協議会次第 ・学校給食における鶴ヶ島市内農産物の活用状況 ・鶴ヶ島市立南小学校 学校だより及び活動の様子 ・鶴ヶ島市立南中学校 学校だより及び活動の様子 ・第３回学校運営協議会議事録 ・鶴ヶ島市立南小学校 学校評価【自己評価・学校関係者評価報告書】 ・鶴ヶ島市立南中学校 学校評価【自己評価・学校関係者評価報告書】 ・令和５年度第５回学校運営協議会の開催について（通知） ・南小学校 令和５年度卒業式について（ご案内） ・南中学校 令和５年度卒業式について（ご案内）
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	（１）第３回学校運営協議会議事録について ・確認した。 （２）学校評価について ・小グループに分かれて領域を分担して意見を交わし、その後出た話題について全体で共有した。

【議事概要】

<南中教頭>

○配布資料の確認

<会長>

・本日の出席委員は１６名です。

過半数に達しておりますので、会は成立とさせていただきます。

○あいさつ

<会長>

- ・ 1月に発生した能登半島地震で甚大な被害が出ましたが、お亡くなりになられた方のご冥福と、一日も早い復興をお祈りします。
- ・ 2月5日の降雪を受けて6日の朝には通学にも影響が出たが、サザン支え合い協議会が2月6日の朝4時から学校周りの雪かきをしてくださいました。
- ・ 学校評価の結果をふまえて、具体的な意見を願います。

<南中学校長>

- ・ 今冬は寒かったり暑かったりですが、今年度もあと一か月ちょっととなった。ここまで南小中学校とも大きな事件事故がなく、日頃の見守りありがとうございます。
- ・ 中学校では大きな行事である1学年スキー宿泊学習、2学年修学旅行とも保健室いらずの元気さ。3年生は来週水曜の県公立の試験に向けて準備しているところ。
- ・ 学校評価については南小中学校へ来年度に向けての示唆をいただきたい。

○報告事項

(1) 学校給食における鶴ヶ島市内農産物の活用状況

○本日の給食試食会の感想

<委員>

- ・ 2年1組で食べたが、廊下で配膳というのが自身が学生だった頃と異なる。
- ・ 席についていただきます、のあいさつ後食缶に走って増量していたが、昔は後からおかわりだった。
- ・ 生徒におかわりしないと量が足りない？と聞いたら「うん」、嫌いなものは「野菜が苦手」とのこと。でも一生懸命食べていた。
- ・ 和気藹々と食べていたという印象。食事を残すということもなく、昔よりも美味しくなったように思う。

<会長>

- ・ 続いて資料2ページについて願います。

<委員>

- ・ 市内農家の支援という意味もあり、産業振興課とJAいるま野で給食センターへ鶴ヶ島の野菜を食べてもらうということを積極的に今やっている。
- ・ コロナ禍前に一度直売所の組合が主催して給食センターで試食会を行っていた。先日は給食センター主催で11月に市内農家、産業振興課で試食会、給食センターの見学を行った。
- ・ 農家を育てるということも含めて、学校給食で市内の農産物を多く食べてもらおうとJAいるま野の鶴ヶ島直売所経由でやっているところ。
- ・ 資料の表でもわかるように、全体の使用量における鶴ヶ島産の割合はコロナの影響

響で2年前までは少なかったが4年度は増加し、今年もさらに増えていると思われる、農家も努力している。

<会長>

- ・地域と学校の連携を今後も進めていっていただきたい。

(2) 学校の様子

<南小教頭>

- ・ミシンボランティア（学校応援団）計3回入っていただき、スムーズだった
- ・6年生いのちの授業「ASUKAモデル」、胸骨圧迫の方法を学んだ
- ・5年生校外学習（羽生市で藍染探検、群馬県スバルビジターセンター）
- ・6年生薬物乱用防止教室
- ・避難訓練（煙中体験）
- ・6年生校外学習（国会議事堂、科学技術館）
- ・6年生エコクッキング
- ・2月6日積雪
- ・3年生総合で地域の安全について健全育成の会長による講義

<南中教頭>

- ・まとめの学期。今年度「生徒が主語の教育活動」を重点としており、生徒の自律した学びのために教員一同がんばっている
- ・3年生、学校版トリアージ教育（女子栄養大の依頼による）
- ・地域のボランティアへの参加（わいわいがやがや祭り）
- ・避難・防災訓練（消火体験、AED使用体験、煙中体験）
- ・1年生スキー宿泊学習
- ・2年生修学旅行
- ・どちらの行事も体調が悪くなる生徒はほとんどいなかった。
- ・生徒会レク（大縄跳び）自分たちで考えて呼びかけて行った
- ・雪の校庭開放
- ・「生徒が主語の教育活動」は生徒に浸透していると考えている

(3) 西部地区地域学校協働活動実践発表会報告

<会長>

- ・前回の第3回学校運営協議会と日程が重なっていたため南小中学校の主幹教諭、教務主任が参加していた。本日は別の会議に出ているためこの場での報告はなし。

議題（1）

第3回学校運営協議会議事録確認

<会長>

- ・見ていただいて、自身の発言の記載に修正があれば後で申し出てください。

○会長が議事録の要点を読み上げた。

- ・学校と地域の情報共有について、会長が地区別の学年別の人数が知りたいと発言したところ資料をいただいた。1月の太田ヶ谷自治会での催しで活用できた。
- ・ボランティアについて受け入れ側はどのように対応したらよいかなど今後のことを考えるにあたり、日程を取って参加した中学生に対してヒアリングを行いたい。

議題（2）

学校評価について

<南小教頭>

- ・全体的には、保護者の回答で「②だいたいそう思う」が多かった。保護者にとってわかりづらい設問や、中に入ってみないとわからないなどでこの回答が多かったのかと感じた。
- ・学習指導の質問項目③「私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している」は教員、児童、保護者とも評価がよかった。引き続きやっていく。
- ・タブレットを使った学習に関する質問項目への回答を見ると、特に児童であまり使われていないとの回答が多い。低学年がそうだが、まだまだ全学年で使われていないというところがあるかと思うので積極的に使っていかなければと感じている。
- ・特別支援教育に関する「何か困ったときにおうちの人や先生に相談できるか」といった内容の質問については、児童の回答で「③あまりそう思わない」「④そう思わない」が約30%となっている。子供にとって相談しづらい、できない状況がまだまだあるのかと思う。保護者の回答を見てもなかなか相談してもらえない、というところがあるのかと思う。学校でも何か対応していかなければと感じている。

<南中教頭>

- ・保護者の回答では「②だいたいそう思う」が一番多い。ただ、以前より保護者の意見が厳しく変わってきていると肌で感じている。生徒よりも否定的な評価をつける割合が高い。
- ・生徒指導②で保護者と生徒を比べると認識の差が大きいことが見てとれる。
- ・今回から保護者への調査をC4thを使用してGoogleフォームのみで行ったが、回答者数が非常に少なかった。このことも評価結果に影響していると思われる。
- ・来年度以降保護者からもっと意見を出してもらえるように、わかりやすく学校の状況を伝えられるように考えている。本日これから意見をお願いします。

<会長>

- ・各グループに分かれているので、これからテーマごとに話し合ってください。
- ・フリートークでいいので具体的に、評価の良し悪し、もしくは先ほどの生徒指導のように正直学校関係でないとわからないものについては、学校担当者からやっていることについて話してもらったり、どうなの？と聞いてもらったりしてもよい。
- ・割り振られたテーマから外れてしまっても構わないので、学校に対する考え方や地域にお願いしたいこと、地域からの問いかけにたいしてこういう風にやっている、などディスカッションしていただきたい。

<委員>

- ・保護者の回答が少なかったという話があったが、どのくらいなのか？

<南中教頭>

- ・3割くらいです

<会長>

- ・中学校での保護者の回答は全体の3割程度ということだが、C4thを使ったら回答率が低くなってしまったということがあるようだ。来年度以降もとの調査方法に戻すということもあるのか？

<南中校長>

- ・数が集まらなないと仕方ないので、紙に戻すか？といった話は学校でもしている。しかし、教員の負担軽減を考えるとGoogleフォームを使うとわざわざ集計作業をしなくてもデータが出てくる。

<南小教頭>

- ・小学校の回答率は児童数365人中239人、65%です。こちらもC4thです。

<南中校長>

- ・先ほど会長からも説明あったが、結果の分析をみて感じたことをそれぞれ話し合ってください。記録は各グループに入っている学校職員が担当する。
- ・話し合ってきたことについて、それを受けてどうするか、次の一歩を考えることが大切と思う。
- ・学校、家庭、地域で担えることは？というような具体案が出てくるとありがたい。

以下、各グループで領域を分担して話し合った。

<Aグループ>学校教育目標、学校経営方針

- ・質問項目の聞き方がよくないものもあるのでは？
- ・意見を持っている方が回答するから、結果として厳しい評価にみえるのでは？
- ・学校からの発信が少ないのでは？年度当初にだけ伝えられてもその時だけになっ

てしまう。目標の提示だけでなく教員はこう思っている、生徒はこう思っているということを配信等してもよいのでは？

- ・発信も、紙での配布だけでは親まで届かないことがある
- ・配信しているものについて、回答を要するものは返信する余裕のある時間帯に配信するようにしたら、見てそのまま放置、とならずに返信できるのでは？
- ・保護者と生徒の評価に差があることについて、保護者は「そう思わない」というよりは「知らない」のではないか？子供が学校の話をしなくなると学校の様子を知らないので評価を低くつけてしまいがちになるのでは？
- ・何かしらあったときに学校が家庭に連絡をすることについてはありがたく感じている
- ・学級通信の発行頻度はどの程度だろうか？学級通信が一番学校の様子が伝わっているのではないか？ただし個人情報に気になるとあまり細かい出来事までは伝わらなくなるのでは？
- ・学校公開の際のアンケートも Google フォームが用意されていれば、後日回答することもできるのでは？
- ・コロナ禍で地域のつながり、地域が学校に向ける関心が薄くなっているのでは？
- ・家庭で担えることとして、家庭でもあきらめずに子供に毎日学校の様子を聞いてみたらどうか

<B チーム>学習指導

- ・保護者の回答が厳しくみえるのは自分の子供のことだけを見てできているかどうか判断しているからでは？
- ・学習指導②で南小の児童の回答は「④そう思わない」が17%だが、1年生がほとんどできていない。二学期の途中から始まった。低学年の場合は保護者の協力が必要になってくる
- ・発表する、意見を聞くことについては、発表の機会は教科書の内容だけでなく自分の興味のあることについて、総合的な学習の時間を有効に活用したらどうか？発表も話することだけでなく、絵、パソコン、プレゼンテーションソフト等手段を選ばせることも有効ではないか。
- ・ICT 活用について、教員としては児童生徒に提示する際に ICT を使うことで逆に難しかったり、アナログの方がよかったりということもあるので教員側も工夫が必要

<C チーム>体力・生徒指導①

- ・質問項目において、児童のところは「体育や休み時間に」他は「体育の授業」に限定されている。児童は休み時間も含めているのでよい評価になっているのではないか
- ・小学校は運動会が午前中、午後は授業となっているが、個人的には嫌だ
- ・学年関係なく外遊びできていることはよい
- ・体力面から考えると、中学校の体育祭は秋開催でもよいのでは？
- ・勝ち負けにこだわる取組が小学校ではほとんどないが、高学年などで運動ができる子の選抜での勝負を取り入れてもよいのでは？

- ・地域ではスポーツ少年団によって体力向上できているところがあるので引き続きやっていってもらうとよい
- ・予防、ケガしない体づくりを地域でお願いできると学校や家庭の負担を軽減できるのではないか
- ・家庭で担えることとしては、親子が一緒に外で遊ぶことが少なくなっているので、休みの日にでもやってもらえたら。共働きの家庭などで時間がとれないところは外部に任せることも必要。
- ・生徒指導①について。生徒指導とはどういうものなのか、言葉ではイメージしづらい。
- ・不登校はどれくらいいるのか？
- ・保護者の評価で小学校では③④が多いことについて、数字上出てくることは仕方がないこととしてしっかり受け止めて引き続きやっていくことが大切では
- ・この評価だけではわからないこともある。小学校では1年生から6年生まで幅広いが、1～3年、4～6年など学年でカテゴリーを分けて、どのあたりの保護者の意見なのか分析してみることも手では？
- ・学校に期待することとして、担任とうまくコミュニケーションをとれないときの相談窓口を広げる、スクールカウンセラー直通の電話番号の周知（学校だよりに掲載するなど）
- ・地域は防犯パトロールを継続してやっていく

<D チーム> 生徒指導②、特別支援教育

- ・どちらのテーマについても子供たちの良さを伸ばすためには、つまずきをカバーするためには、という話をしていた
- ・夏休みの鶴っ子サマースクール、放課後のびのび算数教室等、苦手なことについて夏休みや放課後の時間を使ってフォローしてあげられる取り組みを最近はやっている
- ・学校や市に対しては、そのような場の提供をしてほしい。空き教室の提供など。子供は家だとだらけてしまうのでそういった機会の提供を学校、市民センターでまだまだできそう
- ・ただし、そういった機会があっても知らない人は知らないままになる。各家庭で機会を使っていこうと意識化してもらうことも大事なので、低学年のうちから「学校でこういうことをやっている」など話してもらって機会を活用してもらう習慣をつけてもらうといいのではないかな。

<E チーム> 地域とともにある学校、働き方改革

- ・この地域は他と比べても地域と学校の関係がうまくいっている地域である。中学生は地域の行事に本当に参加させていただいている。地域の協力によって多くの子供たちにとってとても恵まれた環境を作ってもらえている
- ・小学校では、健全に丸投げして保護者がやらなくなっているから、否定的な意見が多くなるのでは？
- ・昔は保護者と子供が一緒にやる活動が多かった。PTAの活動もやって楽しい、やってよかったね、ということが多かった。

- ・学校に期待することは、数字から見える保護者と教員のギャップをどう埋めるか。それは PTA 活動をいかに活発化できるか。役員はよくやってくれて意見も出してくれて積極的だがなり手がいない。
- ・地域と保護者を巻き込んで一緒にやる楽しい活動を。
- ・来年度は学校応援団と PTA が協力して復活させる行事についても意見をいただいているので努力していく
- ・地域で担えることについて、あくまで地域は支える側なのでは？とてもよく活動しているこの地域だが、行事が親切すぎてあだになっていることはないか？保護者を巻き込んだ活動を考えていく。
- ・学校運営協議会とは異なる気軽に地域、保護者と語らえる場が作れないか。
- ・家庭で担えることは、保護者のやるべきことを考え直す
本来、活動を主に行っていくのは地域より保護者が望ましい。子供を中心にすえて考えてほしい
- ・働き方改革について、一生懸命やっても保護者の意にそぐわないといい意見は出ない。認知の仕方を考えていく必要がある。
- ・周辺と比べて鶴ヶ島市は教育関係施設が市内に本当はない。中学校に武道場がないのはこのあたりでも鶴ヶ島市だけ。ただ、スクールサポートスタッフや学級運営補助員、学習支援員など人は配置されている。スクールカウンセラーも中学校は毎週来てもらえる。マンパワーでは協力していただいている
- ・学校でも否定的な評価が中学校で 5 %、小学校で 10 %ある。
南中ではだいぶ進めているのだがこういう意見が出てしまうということは管理職として考えなくてはと思う。
- ・ただ、働き方改革の本来の目的は業務を楽にすることではない。
業務改善して子供たちと向き合う時間を確保するという意味を理解して取り組んでもらえるよう考えている。
- ・水泳授業の外部委託を市の方で取り組んでいるが、坂戸市でも全校に導入することでプール施設をとられることを危惧している。

<会長>

- ・各 5 グループから出た意見についてまとめるので、それらをもとに学校経営方針等の参考にしてもらえたらと思う。
- ・この地域については地域と学校がうまくまわっていると言われているので、それをふまえながら、これからは足りないところは補って、うまくいっているところは継続しながら進めていきたいと思う。

○連絡事項

<健全育成>

- ・2月24日「片付け」がテーマの講演会を予定している。

<サザン地域支え合い協議会>

- ・来年度の避難所設営訓練の日程は6月16日（日）を予定。

内容は未定だが炊き出し等やりたいと聞いている。

- ・南小 PTA からの依頼で広報つるがしま 2 月 1 日号に「子供の見守りに協力をお願いします」というチラシを入れた。反応はほぼない
- ・2 月 20 日松ヶ丘自治会館で見守りをやっていただいている方々の懇談会を予定。南小校長、PTA 会長にも出席して話をしていただきたいと思っている。市役所の担当課の職員にも話をしていただいて今後の見守りに生かしていきたいと思っている

<南中校長>

- ・来年度の委員のことについて。基本的には今年度のメンバーで来年度も進められればと考えている。各自治会の代表で来ている方はどうしても変わらなければいけないということもあるかと思うので、その場合には次回 3 月 5 日の学校運営協議会までに南中教頭まで連絡をいただきたい。

<会長>

今後の予定

○中学生ボランティア

- ・実際に中学生が充実してやっているかどうかのヒアリングをさせていただきたい。中学生にもっとうまく対応するための依頼側の今後の参考にするとともに、中学生自身の生の声を聞きたい。日程については 3 月の 11 か 12 日、卒業式の少し前の放課後くらいに。

<南中校長>

- ・3 月 13 日かどうか

<会長>

- ・3 月 13 日 13 時 30 分、場所は翔南ルームで行いたいと思う。中学生は 5、6 人いてくれば。

<南中校長>

- ・3 年生は声をかければ残ってくれると思う

<会長>

- ・よろしくお願いします

<会長>

- ・最後に今後の予定です

○3 月 5 日に第 5 回学校運営協議会 13 時 35 分から南小のわくわくルーム

○3 月 13 日ボランティアのヒアリング

○卒業式 南中学校 3 月 15 日（金）、南小学校 3 月 22 日（金）

その他全体を通じて何かありますでしょうか。
ないようでしたらこれで第４回学校運営協議会をとじたいと思います。ありがとうございました。